

Igroup communication

Special

15

2025年4月30日発行

一人ひとりの一隅を
照らし続ける。

フォトコンテスト

卒業式

旅立ち

入学式

新年会

修学旅行

BOOK CAFE PERCH

入居者アンケート

NPO法人 アイグループ

〒816-0848 福岡県春日市白水池2丁目14
TEL:092-710-0013 www.npo-aig.jp

見やすいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。



春の

フォトコンテスト



2025

今年もBOOK CAFE PERCHの春のイベント「はるまつり」と同時開催されたフォトコンテスト。テーマは『はるがきた』です。約60点の応募作品が集まりました。

エントリーされた作品はそれぞれの『春』が良く表現できていて、審査を担当したスタッフたちからも「選ぶのが難しかった」「撮影者の個性が出ていて、みんなそれぞれに良かった」「春の感じ取り方もひとりひとり違い、どれもすばらしかった」という感想が聞かれました。



「撮影者の個性が出ていて、みんなそれぞれに良かった」「春の感じ取り方もひとりひとり違い、どれもすばらしかった」という感想が聞かれました。

今回は、最優秀賞・優秀賞・理事長賞・PERCH賞を選出。応募者の名前・所属ホーム等はすべて伏せ、スタッフによる投票制で審査しました。今回おしくも選ばれなかった作品にもそれぞれに票が入っていて、かなりの接戦に…!みなさんの感性のすばらしさを改めて知ることができました。

撮影のために春を見つけに外を歩いたことで、普段は何気なく眺めている景色にも目を止めるきっかけのひとつになってくれていたらとてもうれしいです。好評のこの企画、春の恒例イベントになりそうです!たくさんのご応募ありがとうございました。

テンポラリーくまもと
2号室
R.Hさん(熊本県)

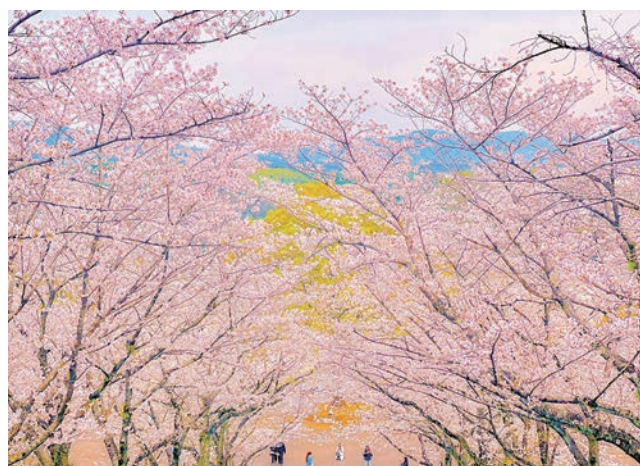
最優秀賞



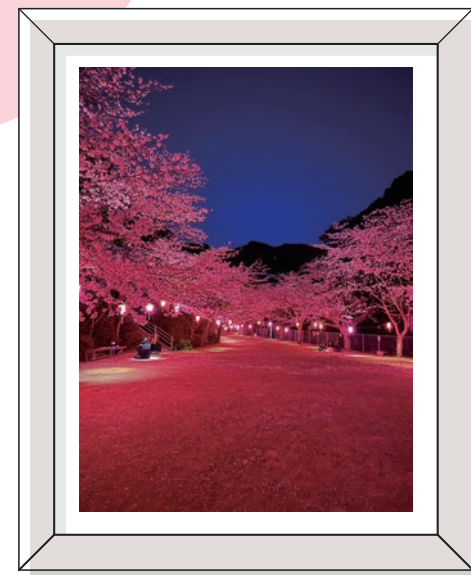
ダイナミックに空間

をとらえた向こうには緑が見え、桜のトンネルを抜けた先に春を楽しむ人々の姿もあります。まさに『はるがきた』喜びにあふれる作品です。淡い色合いの中にも色彩にコントラストがあり、とても美しいです。たくさん

の票を集めました。最優秀賞受賞、おめでとうございます!



最優秀賞



優秀賞

自立援助ホームinn
M.Sさん(長崎県)

講評



幻想的な夜桜。

空の藍色や深い山の色、散った花びら、提灯の灯りも、照らされた桜とともにこの写真のもつ独特な雰囲気を作り上げていますね。夜の桜の撮影は難しそうですが、とてもかっこいい作品になっています。

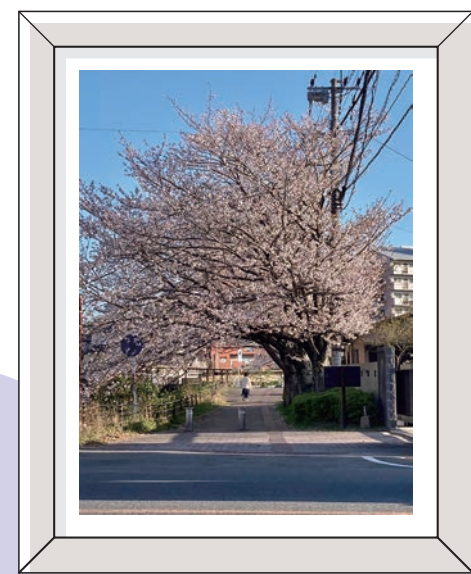
自立援助ホームえん
R.Hさん(福岡県)

理事長賞

講評



たくさんの桜を背景に、かわいらしい蕾(つぼみ)もメインに据えた、春を楽しむ気持ちにさせてくれる1枚です。奥の風景と手すりなどもきれいに配されていて、広がりを感じますね。日常の公園の風景でしょうか。散歩を楽しみたくなる写真です。



PERCH賞

アシストルーム利用
H.Iさん(福岡県)

講評



何気ない街の風景にある桜のトンネル

をとらえた1枚。桜の名所に行かずとも身の回りには春を感じられる場所があることを教えてくれる作品です。青空と桜の色彩も豊かですね。

■ 卒業式

卒業式

Mさんはテンポラリーくまもと2号室に入居して1年が過ぎました。令和7年3月1日に全日制高校を無事に卒業することが出来ました。

卒業式当日、職員2名で卒業式に出席しました。
卒業式でのMさんの凛々しい姿にたくましさを感じました。
高校に入学してから弓道部に入部し3年間部活動を頑張ってきました。弓道の大会では九州大会に出場するなど立派な成績を収めてきました。

休みの日にも練習や試合に参加し、毎日を忙しく過ごしていましたが、弱音を吐かず合間の時間にはバイトをし、3年間目標に向かってよく頑張っていたと思います。

人付き合いが上手なMさんには友人もたくさんおり、友人との時間も楽しく過ごせ高校生活はとても充実していたと話していました。

4月からはウエディングプランナーになる夢を叶えるため福岡の専門学校に進学します。不安な気持ちもあるようですが、夢を叶えるため進学出来る事に胸を膨らませています。入学に必要なスーツを一緒に購入しに行った際、スーツを試着したMさんの姿に成長を感じました。

進学後はテンポラリーくまもと2号室から住まいが離れてしましますが、これまでと変わらずMさんとの繋がりを大切に、困った時には頼れる場所であれるよう見守っていきたいと思います。



■ 旅立ち

旅立ち

退居者 M.Tさん

私はテンポラリーくまもと2号室に来る前は別の施設で生活していました。

テンポラリーくまもと2号室に入居したことによって、高校を無事に卒業し、諦めていた専門学校に進学することが出来ました。

テンポラリーくまもと2号室にいた時間は短かく、たくさんの失敗もありましたが色々な経験をすることができ、福岡での新生活を始めることに自信ができました。

4月からウエディングプランナーの勉強を頑張って、資格をたくさん取りたいです。一人前のウエディングプランナーになれるように頑張りたいと思います！



入学式

自立援助ホームを出るにあたっての想い

退居者 K.Mさん

私は一年間、自立援助ホームで生活しました。この場所での生活は、私にとって大きな意味がありました。ここに来る前は家での生活が辛く、将来のことを考える余裕もありませんでした。でも、このホームで暮らすうちに少しずつ自分で生活する力を身につけ、大学進学という目標に向かって努力する決意が固まりました。

ホームでは学校に通いながら家事をこなす生活を送りました。最初は時間の使い方が難しく、慣れない事ばかりで大変でしたが少しずつ自分なりに工夫して乗り越えてきました。また、職員の方々や一緒に暮らす仲間の存在が大きな支えになり、自分の気持ちを素直に吐き出せる場所があることがどれだけ心強い事なのかを実感しました。

そして今、大学進学に向けて新しい生活を始める時が来ました。ホームを出る事に不安もありますが、それ以上に「これからどう成長していけるのか」という期待の気持ちもあります。大学では外国ルーツの子ども達を支援する活動にも関わり、自分の経験を活かしていきたいです。

このホームでの一年間で学んだことを忘れずに、これからも自分の目標に向かって頑張っていきたいです。



新年会の開催

職員や児童、退居者も楽しい時間を過ごしました

2月14日、春日地区で新年会を開催しました。現在入居中の児童や退居者にも声をかけ児童30名、職員13名、合計43名の参加でした。パートナーや自身の子どもを連れてきてくれた児童もあり、職員や入居児童とコミュニケーションをとれる機会を喜んでいました。退居児童がギターの演奏をしてくれ、参加者全員が聞き入っていました。新年会で演奏をお願いしてから沢山練習をしてくれていたのが伝わりました。そして、その児童はその日に大学の合格発表がありとても緊張していましたが、「合格だった!」と笑顔の報告がありました。食事中もあちこちから笑い声が絶えず、職員も大変嬉しかったです。中盤にはプレゼント抽選会があり大盛り上がり。職員が着ぐるみで登場し、各テーブルにくじ引きで回ります。番号が呼ばれるたびに歓声が上がり「どれにしよう」「これはなに?」と尽きず。パートナーの方も相手に喜んでもらえるようにパートナー同士で話しながら選んでいるのが印象的でした。

今年は初めて春日地区の職員で企画・準備をしました。段ボール工作が得意な職員がくじ引きの機械やテーブルマナーの大きな食器を作成しました。テーブルマナーは今後も役に立つ知識なので、開催時には少しずつ参加者に伝えていければと思っています。

また、入居児童も職員と一緒に準備を手伝ってくれました。その児童は職員として働きたい夢を持っているため、参加後「職員はこんな風に働いているんだね」と職員として働きたい気持ちを改めて固めたようでした。そろそろ新年会も終わりそうな頃、サプライズで職員が用意をした動画を流しました。児童の良いところを職員が一言ずつ書き、思い出の写真を準備しました。「これ、〇〇に行った写真だ」「ここに行ったね」と嬉しそうに話していました。途中で泣きそうになっている児童もいました。次回もできるように、沢山思い出をつくっていききたいと思います。

最後、理事長からの閉会の挨拶の前にえん、テンポラリーの児童が待ったをかけました。開催日はバレンタインデー、感謝の気持ちを込めてお菓子を作成し理事長にお渡ししました。その後、理事長から繋がりを切らない事や今後の新年会を交流の場として参加者が増えていくと良いですねと話していただきました。退居児童から聞く話が職員も入居児童も学ぶことが多く、パートナーの方も職員と話さず中でホームのことや、パートナー同士、大人との交流の場になっていたと思います。児童と職員だけでなく、児童を取り巻く人たちを巻き込みながら交流を広げていきたいと思っています。「来年の新年会はどんなことするの?」と終了後に聞いてきた児童もいました。心に残る新年会になったと嬉しく思います。職員間でも次回に向けて構想を練っているので、来年も楽しみにしてくれればと思います。



■ 修学旅行

第3回USJ修学旅行へ行ってきました。

第3回目となる3月の修学旅行へ行かせて頂きました。

今回LUCKでは、退居者児童と職員の2名での参加でした。退居している為待ち合わせも新幹線の中でしたが理事長を始め他のホームの職員さんの協力のもと無事に合流し久しぶりに会う事が出来ました。1日目はUSJへ行きアトラクションに乗りたいと話していたのですが、一人では乗れないから一緒に乗ろうと誘われ本児が乗ってみたいアトラクションを探し2人で乗る事になりました。

1つのアトラクションに乗るのに2時間待ちと長かったのですが、職員と一緒に並んで乗る事が出来て喜んでいました。昼食にハリーポッターのレストランに入りテンションもすごく上がり、「バタービールとか有名だね」と言い写真を撮っていました。

また、おさるのジョージとも一緒に写真を撮り喜んでいました。ホテルに戻る前に雨が降り出し少し濡れましたが、ホテルまでの道のりを児童がナビで検索してくれました。

2日目は観光とショッピングへ行かせて頂きました。「アメリカ村へ行ってみよう」とリクエストがあり、本児が事前に行きたいお店をピックアップしていた古着や雑貨のお店を巡りました。梅田にも行きたい場所があると話しそこにも行きました。



2日間でいろんな所へ行きましたが、「疲れたけど楽しかった」と話していました。今回、修学旅行に行くにあたり本児が行きたい場所も決め、きちんと考えて行動しようとする力が見についていると感じられました。

また、帰りの新幹線の中では職員が新幹線から降りる前には寂しそうにしており職員に対し「一緒に修学旅行に行けてよかった」「一緒に行けたのが〇〇さんでよかった。ありがとう。」と伝えられ、この仕事をしていて本当によかったと心の底から思えました。

退居していても繋がっている事は変わらないから、と改めて本児に伝える事が出来ました。このような機会を頂けた事に感謝しています。ありがとうございました。



BOOK CAFE PERCH

春の訪れを感じる2日間

—ブックカフェパーチで開催された「はるまつり」—

3月26日と27日、福岡県春日市にあるブックカフェパーチでは春の訪れを祝い、イベントを行いました。今回のイベント「はるまつり」は『春』と、みんなが大好きな『韓国』をテーマに掲げて開催しました。この2日間で35名ほど来場者が集まり、春の心躍るひとときを共に楽しみました。

BGMもK-POPにこだわりました。その軽やかなリズムが会場に響き渡り、春の味覚が揃ったメニューにみなさん楽しんでいただけたのではないのでしょうか。たくさんの笑顔が、明るい春の訪れを感じさせてくれました。

春と韓国、魅惑のコラボレーション

「はるまつり」のテーマは、「春と韓国」。会場内には、桜の花を模した装飾や、かわいい提灯をかざり、まるで異国の春を感じさせるような不思議な雰囲気。花見の雰囲気と韓国のポップさを感じさせるアイテムで会場を彩り、韓国と日本の春が融合したような雰囲気になったのではないのでしょうか。

目でも舌でも楽しめる絶品メニュー

イベントのハイライトの一つは、もちろんフードメニュー。イベント特別メニューとして韓国料理と春らしさを感じさせる料理をそろえました。一番人気だったのは、韓国の定番料理ヤンニョムチキン&ポテト。甘辛いタレに絡まったチキンの味わいが、食べる手を止めさせないほどの美味しさ。みんなが大好きなポテトと一緒に添えました。続いて、モチモチとした食感が特徴のチヂミ。ごま油でカリッと焼き上げ、香ばしい香りと一緒に口に広がる、外はカリッと中はモチモチとした食感がたまりません。そして、春を感じさせるサラダ「チョレギきゅうり」は、シャキシャキとした新鮮な味わいと韓国風の特製ドレッシングが絶妙に絡み、口の中に春の爽やかさが広がります。レシピを教えてほしい!という声

も多数聞かれました。また、デザートメニューも見逃せません。ほんのり甘い白玉団子は、カラフルなソーダとフルーツを合わせたPOPなメニュー。カラフルひとロドーナツは見た目も楽しく、食べるたびに幸せが広がります。

さらに、春の穏やかな雰囲気にぴったりのドリンク「抹茶ミルク」。抹茶の深い味わいとまろやかなミルクが絶妙に混ざり合い、目にも舌にも春を感じさせます。どれも来場者から大好評で、食べるごとに「おいしい!」という声が自然と聞こえ、会場の中は笑顔で溢れていました。

K-POPにゲームに盛り上がる、春のお祭り

BGMには、韓国の最新K-POPのヒット曲が流れ、春の暖かな空気とともに会場を包み込みます。そして、参加者たちは次々とゲームコーナーに足を運び、春の祭りを一層楽しいものにしていきました。ゲームは、「ひよこdeビンゴ」と「ナイスエッグ」の2つを用意。これがまた大盛り上がり!



ゲームコーナーの盛り上がり

「ひよこdeビンゴ」は、手作りのひよこ型のお手玉を丸い輪の中に投げ入れるビンゴゲーム。単純なゲームなのですが、これが意外と難しく、何度も何度も挑戦する参加者たちの熱気と、ビンゴが決まった瞬間の歓声が響き渡り、とても賑わいました。

「くやしい!」「もういっかい!」「ハマる!」「たのしい!」といった声が至る所から聞こえ、ゲームのたびに笑顔と元気なエネルギーが溢れていました。

さらに、もう一つのゲーム「ナイスエッグ」も負けず劣らずの盛り上がりを見せました。卵の殻の形のカプセルに黄身を入れ、白身の上に落とすというユニークなゲーム。「NICE EGG」と書かれた黄身の上に落とすことに成功すると特賞をGETできます。みなさん必死に挑戦し、「ナイスエッグ!!!」に成功すると歓声が上がっていました。

フォトコンテストで春の思い出を

また、イベントと合わせて「はるがきた」をテーマにしたフォトコンテストも開催しました。これは、当日会場に来ることができなかった子どもたちも参加できます。昨年の作品をすべて会場内に飾っていたのですが、みなさん興味深く見てくださっていたようです。今年もたくさんの応募作品が届きました。身近な春を見つけに、外を歩いた子どもが多かったのではないのでしょうか。また来年も春のフォトコンテストを開催したいと思っていますので、ぜひ参加してくださいね。



終わりに

「はるまつり」は、春の到来を感じさせる2日間となりました。韓国の文化、春の風物詩、美味しい料理、楽しいゲーム、そして心温まるフォトコンテスト。そこにみなさんの笑顔や歓声が重なって、とても素晴らしい空間になっていました。元気を分けてくれてありがとうございます。来てくださったみなさん、本当にありがとうございました。



子どもたちの自立を
家族のように支援する、
プロフェッショナルたち。



■ assist roomの取り組み

子どもから大人への準備期間

当法人が行う自立支援の取り組みのひとつに“assist room”があります。職員が見守りを行いながら、一人暮らしを体験させ地域や社会と繋がりを持たせるなど、自立に向けた経験を担保します。対象は18歳以上で就労していて、職員との信頼関係がある方で、賃料30,000円を上限に法人が負担し、水道光熱費は個人負担です。

一人暮らしを体験する中で、自分と向き合って振り返り、これまでに受けた恩を返したいという気持ちや恩を送りたいという気持ちの芽生えから心の中の傷が癒えていくことや、自分の気持ちを大切にし自主性を持って想いを行動に移せるようにアシストしていきます。

現在法人の中の複数のホームでassist roomを利用した支援を行っています。職員は利用者の方と連絡をとって近況を確認したり、定期的に顔を合わせて話をする機会を設け、生活における必要物の確認や困りごとの相談を受けたりと、利用者の方が本格的な自立へ向かえるように距離感を意識しながらも丁寧な支援を行っています。

これまでのホームでの生活のようにいつでも近くに支援者がいる環境から変化し、一人での生活を行うことは利用者の方にとって大きな成長が期待できると共に、大きな不安も生じる可能性があるため、職員は様々な事態を想定しながら、利用者の最善の利益を目指した支援を行います。

当法人唯一の男子ホームである庵でも今春より初めてのassist roomの利用が開始しました。

18歳でアルバイトを頑張っている利用者の方でしたが、一人暮らしを始めることに奮起し、勤務先と相談しアルバイトから準社員へと昇格をさせていただきました。

引っ越しのため、ホームの自室の荷物を片付けている最中は一人暮らしを楽しみにしている様子や「自分で料理するの好きだから色々作ってみたい」などと前向きな言葉も聞かれていましたが、いざ一人での生活が始まると暗い表情で「家に1人なのは寂しい」などと話していたり、ホームに連絡し生活の困りごとを伝えてくることも多くあり、初めての一人暮らしで不安や戸惑いが窺えました。

その都度、職員が電話でやりとりをしたり、直接会って話を聞くなどして、本人の困りごとに向き合って一緒に解決を図っていくことで、少しずつではありますが明るい表情が増えてきています。

また、これまでホームで生活していた頃は困り事の際にすぐに職員へ尋ねて答えを求める様子がありましたが、本人と話し合い、まずは自分で調べてみることを今後の目標としました。

まだ未熟さはあるものの成人として背伸びをしたい“子ども”から“大人”へ変化する18歳という多感な時期に、変化を糧として成長できるのびしろを期待しています。

今後社会に巣立っていくためのこの大切な準備期間に精神的自立や生活的自立、経済的自立など必要なスキルを少しでも多く獲得できるように職員一同実直丁寧なアシストを行っています。

春の訪れとともに

桜 が咲く季節となり、気候も暖かく過ごしやすくなり春の訪れを感じています。3月に高校を卒業した子ども達の卒業祝いにお寿司を食べに行きました。

みんなで一緒に行く事が出来た事、そして何より子ども達の楽しそうな姿を見る事が出来ました。高校を卒業した後はそれぞれの道へ進むのですが、一人は就職の為ホームを退居し新しい環境で生活を始めます。別れは悲しいですし、退居後も不安は沢山あると思います。子ども達には退居後も繋がっている事を伝え、何かあれば相談して欲しい事、一人で抱え込まない事を伝えました。そんな中また新たな出会いもありました。LUCKでは3月から新たに児童が2名加わりリビングが一気に賑やかになりました。3月にBOOK CAFE PERCHで開催された春祭りイベントに子ども達と参加させて頂く予定でしたが今回は子ども達の体調不良の為参加できませんでした。すごく残念でしたがホームの中のイベントではひなまつりもあったので飾り付けや料理を見て子ども達も喜んでいました。このような子ども達との触れ合いを通して今後の子どもたちの成長にもつながればと思っています。



LUCKでは常に安心安全の居場所である事、温かくぬくもりのある居場所である事、一人一人の意見を尊重し自分で考え行動し、それぞれの個性を尊重できるようにと思っています。自立に向けてのアドバイスをしながら子ども達が一步一步成長できるようサポートが出来ればと思います。

新生活へ向けて

暖 かな日差しに春の訪れを感じるこの頃、小倉北では5名の児童が生活しています。

2月に2名の児童が18歳を迎えました。それぞれが希望したお店に外出しに出掛けさせて頂きました。普段中々行く事のないお店の雰囲気に緊張ぎみの児童たちでしたが、おいしい料理をお腹いっぱい楽しんでおりました。それぞれの児童が、「自分の行動に責任を持つ」「20歳までに一人暮らしを始める」といった抱負を語っていました。3月にはPERCHのイベントへ参加させて頂きました。1名アルバイトで参加することができなかったのですが、いつも起きられずに参加できなかった児童も今回は行く事ができました。毎回必ず参加している児童もあり、イベントが決まってからずっと楽しみにしていました。車移動が苦手な児童もいる為、電車移動と車移動に分かれて行きましたが、どちらも2時間程の旅路を楽しみながら行く事ができました。最近では退居後の生活に向けた話をする機会も増えてきました。一人暮らしすることに不安がある児童や、アルバイトが安定しない為



生活面の不安を抱えている児童もいます。焦らず児童のペースでできることを増やしながら、それぞれの自立に向かっていけたらと思います。小倉北がこれからも安心・安全な居場所であることを目指し、ありのままの自分ですごせるホームとしていられるよう今後も努力していきます。

新たな出会いに。

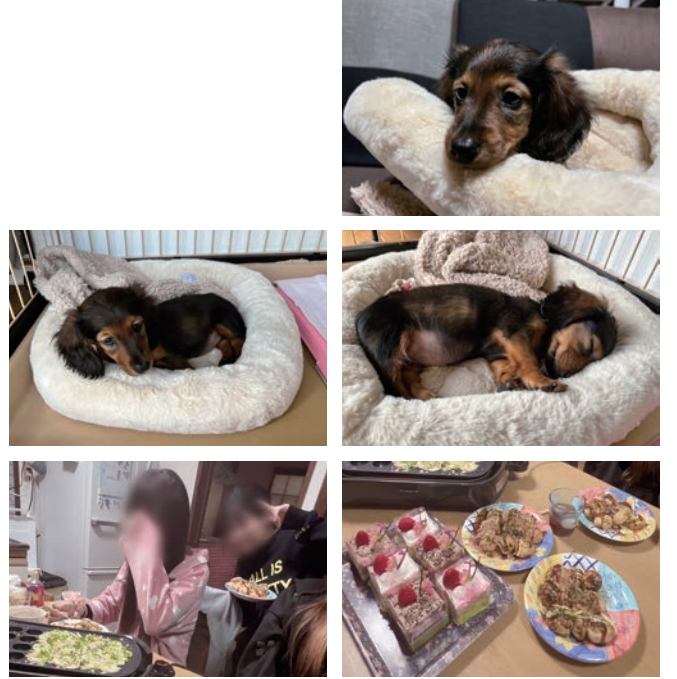
桃 の節句も過ぎ、いよいよ春の到来ですね。2月に2人の子どもたちが加わり、Permitは現在5名で暮らしています。通信制に通っている子やWワークを頑張っている子などさまざまな生活スタイルの子どもたちがいます。

昨年柴犬のこてつが亡くなり悲しみがありましたが、新たにカニーヘン・ダックスフンドの“しょこら”をお迎えし子どもたちの癒しの存在となっています。ご飯をあげたり排泄物の掃除をしたりとお世話もしっかりしてくれます。

1日1回はしょこらの所にきて抱っこしたり話しかけたりと子どもたちの大きな存在となっています。

まだ散歩に行けないので散歩に行ける日をみんな楽しみに待ち望んでいます。

また、3月はひな祭りのお祝いをしました。みんなでたこやきとケーキを食べました。たこやき作りが得意な児童がおり上手に作るコツを教えてくれ美味しいたこやきを作る事が出来ました。今までお祝いをしたことがないという児童もおり喜んでいる姿が印象的でした。



環境が変わり最初は不安でいっぱいだった児童も日々の生活の中で笑顔も増え、少しずつ成長している姿が見られます。子どもたちの日々の成長を身近で感じる事ができ、嬉しく思います。Permitが「安心して楽しく生活できる場所」だと感じてもらえるよう、職員一人ひとりが子どもたちに寄り添い全力でサポートしていけるよう邁進していきたいと思っています。

変化と成長の一步を

i nnでは、児童が就労している神社へ初詣に行きました。巫女さん姿で働いている児童を目にし、成長を感じることができました。みんなでのおみくじを引き大大吉を引いた児童もあり、良い一年のスタートがきれました。

2月のイベントでは、佐賀のラウンドワンへ行き、思いっきり体を動かしながら、さまざまなスポーツを楽しみました。ラウンドワンに到着すると、まずは「何から遊ぶ？」とみんなで相談し、話し合いながら決めました。自分たちで考え、協調性や自主性を養う機会にもなりました。みんな夢中になって遊び、楽しい思い出になっています。

3月には、3回目となる修学旅行に参加しました。遠隔地へ出かけ、普段とは異なる生活環境の中で過ごすことで、視野を広げ、新たな発見をすることができたようです。初めて会う児童と同じ部屋で生活を共にすることで、自然とコミュニケーションを取る力が養われ、お互いを思いやる気持ちも育まれました。また、移動の際には電車の改札を通る経験をし、社会での最低限



のルールやマナーを学ぶ良い機会となりました。切符の買い方や改札の通り方、公共の場でのマナーなど、実際に体験することで理解が深まりました。

この貴重な体験が自信に繋がり自立していく時の支えになってくれるでしょう。

新年度を迎え、それぞれに変化が訪れます。一人一人自立に向け、目標があります。innの児童、職員共に少しずつ成長して、目標に近づいていきたいと思っています。

華やかな門出と新しい出会い

暖かい日差しが降り注ぎ、桜の花も色づきが増していく華やかな季節となりました。巣立ちと新たな出会いが重なり、ラブでは現在は6人の入居者が賑やかな日々を過ごしています。昨年度末に、県外の大学に進学する利用者の1人がラブでの生活を卒業しました。新生活に向けた準備や手続きに忙しく過ごしており、当初はラブから離れる実感はないようでしたが、準備が進むにつれて段々と寂さを感じるような言葉が聞かれました。新生活への期待と不安が入り混じった複雑な心境があるようでしたが、前向きに巣立っていけるように職員一同で背中を押しました。また、昨年度末に新しく入所した利用者は、この春から高校に入学します。新しい生活を頑張ろうと意気込み、可愛らしくはにかむ笑顔が印象的な児童です。まだ緊張した様子もありますが、職員だけでなく先に入所した利用者たちが気に掛けてくれることで、少しずつリラックスする姿も増えてきました。教えられたことを日々吸収する姿、周囲を気に掛ける姿、それぞれが成長する姿を見て日々感心させられます。これまでの生活や家庭環境など様々な背景を持ち入居してくる利用者たちは日常生活でも困難にぶつかることも少な



くありません。そのため、職員はいつでも相談に乗れる体制を整え、利用者にとってホームに帰れば誰か職員が話を聞いてくれる、味方になってくれるという安心感を持ってもらえるように仕事に取り組んでいます。



将来を見据えて努力を続ける

陽春の候、それぞれが心新たに進学や就職といった変化の時期を過ごしている現在、庵では6人の児童が生活しています。昨年末から入所になった1人の児童は、入所してすぐに求人を探して面接を受けてアルバイトを開始しました。慣れない生活に慣れないアルバイト、当初は食後の食器洗いなどのホームでの約束事を忘れてしまったり、アルバイト先でミスをしたりと上手くいかないこともありましたが、自分で考えたり、職員と相談しながらやるべきことをルーティン化したり、注意深く確認を行うようにするなど、少しずつホームでの生活やアルバイトに順応しようと努力する姿が印象的でした。日々そうした努力を続ける中で段々と「最近食器洗うの頑張ってる」や「今日アルバイトで褒められた」などと嬉しそうに報告をしてくることも増え、成長する自分自身に手応えと自信を感じていることが窺えます。現在は、通信制高校への編入や、その先の美容師という夢を目指しての専門学校への進学といった自分の将来を前向きに思い描き、そのために貯金を頑張りたいと話し、アルバイトの掛け持ちについても職員に相談してくれています。



本人が将来を見据えて自分のいい面を伸ばしながら努力を続けられるように、職員は安心できる居場所作りを行うと共に、児童と一緒に悩み考えたり、不安に寄り添うなど密な支援を行う温かいホーム運営を目指していきます。

自立を目指す児童達

テンポラリくまもとでは、今年の春から新たに2人の児童が加わり、現在はアシストを含めて6人の児童が生活しています。新しく入居した17歳のMさんは、「早く自動車免許を取得したい」「一人暮らしを早く始めたい」「アルバイトを見つけて頑張る!」と意欲的に話し、入居してすぐに仕事を探し始めました。自立に向けて一歩を踏み出している姿がとても印象的です。

Mさんの趣味はピアノで、部屋には電子ピアノを置いています。時間がある時にはいつも練習しており、職員に「聴いてくれる?」と声をかけて弾いてくれた時、その演奏は自己流とは思えないほど上手く、思わず聞き入ってしまいました。最初は人見知りだと話していたMさんですが、最近では他の児童とも少しずつ話すようになり、笑顔も増えてきています。また、職員ともコミュニケーションを取れるようになってきました。そんな中、1人暮らしをするためにアルバイトを頑張っている別の児童もいます。その児童は1年後に一人暮らしをするという目標を掲げ頑張って貯金をしています。



このようにそれぞれが自分の目標に向かって努力している姿を見て、私達職員も児童一人ひとりのペースに合わせてコミュニケーションを大切に、児童達が毎日笑顔で過ごせる環境を整えたいと思います。自立に向けて、彼女たちが自身の夢を実現できるよう、これからも支援し後押ししていきたいです。

春、新たな一歩

春の花が咲き誇る頃、子どもたちは自立に向けてさまざまなことに挑戦しています。アルバイトを探したり、生活の中でできることを増やしたりと、それぞれが少しずつ成長していく姿がとても頼もしく感じられます。アルバイト探しでは、求人情報を調べたり、履歴書を書いたり、面接の準備をしたりと、慣れないことにも前向きに取り組んでいます。最初は戸惑いながらも、働くことへの意欲を持ち、一生懸命準備を進めています。初めての仕事に緊張しながらも、採用が決まると喜びと同時に責任感も生まれ、時間を守ることや仕事のルールを学びながら成長していきます。自分の力で働くことで、少しずつ自信をつけている様子が伝わってきます。また、以前調理科のある高校に通っていたRさんが夕食の準備を手伝ってくれました。調理に慣れていることもあり、包丁さばきもスムーズで手際よく作業を進める姿が印象的でした。自ら進んで手伝ってくれとても助かりました。慣れた手つきで食材を切ったり、調理をしたりする姿を見て、やはり経験があると違うものだと感じました。



こうした経験を通じて、子どもたちはそれぞれのペースでできることを増やしながら、自立に向かって歩んでいます。アルバイトやちょっとした家事の手伝いなど、一つひとつの経験が将来につながっていくのだと感じます。毎日の小さな積み重ねが、少しずつ自信となり、未来への一歩へとつながっていくのではないかと思います。

自立援助ホーム えん

こどももおとなも毎日楽しく過ごす

う ららかな陽気に心躍る季節となりました。
春日地区では2月に入所児童、退所児童参加の新年会を開催いたしました。

初めて参加した児童は最初は緊張した様子でしたが終わってみると「楽しかったー、また参加したい」「来年はわたし達も何かやろう!」と来年に向けての意気込みを話してくれました。ホームを退所した児童は家庭や仕事で忙しいなか参加をしてくれて近況の話を聞くことができ、変わりのない笑顔、お姉さんになった姿をみることでとても嬉しく思いました。

3月に入り秋の収穫に向けジャガイモの苗植え、修学旅行、パーティの春祭りに参加しました。ジャガイモは昨年、大量に収穫ができ児童と職員で作ったポテトチップス、ポテトサラダ等のジャガイモ料理がたくさん食卓に並びました。朝が苦手と遠出することがあまり得意でない児童も参加をし自然に触れることができ、とても良い体験ができたと思います。今年はみんなで苗植えから始めたので美味しさもよりいっそうだと思います。
タイトルにある「こどももおとなも毎日楽しく過ごす」は今年のえんの



テーマです。
学校や仕事、就活に向けて頑張っている活動をしています日々、色々な事があり壁にぶつかる日もあります。職員は児童たちと一緒に悩み考え、寄り添い、経験や楽しい時間を共有し児童たちが、ホームにしていると安心ができ、気付くと笑顔になっていた。そんな日常を送れる温かいホームを目指していきたいと思っています。



テンポラリー

新年会に誕生日、卒業祝いと修学旅行。イベントが盛り沢山の春。

日 を追うごとに春も深まり、心華やぐ季節となりました。テンポラリーでは現在7名の子どもたちが生活しています。年が明け新年会に誕生日パーティーにひな祭りイベント、高校卒業に修学旅行と沢山のイベントと行事がありました。それぞれが進学や就職、引っ越しに退所といった変化の時期を過ごしています。
新年会では職員の挨拶から始まり、美味しいコース料理を堪能しつつクジ大会に退所児童への質問コーナー、スライドショーなど余興が盛り沢山でとても盛り上がりました。入所したばかりの子は退所後の生活やお金の話を真剣に聞きホームに戻ってきた際に「もっと聞きたかった。直接あの子と話してみたかった」という姿も見られました。

また、進学の為引っ越し子どもの卒業祝いを兼ねたひな祭りイベントも開催しました。全員ステーキとアイスを食べ「お肉柔らかい!」「アイス可愛い!マイメロのにしよう」など喜びの声と笑顔を見ることが出来ました。この春から大阪での一人暮らしを始める子は「寂しい」と言っており不安も沢山あるとの事です、しっかりと前を向



き新しい環境での生活を楽しみにしている様子でした。
大阪への1泊2日の修学旅行は、大きなトラブルもなく、帰宅後、笑顔で語る思い出話を聞いたのは嬉しかったです。
別れの春、出会いの春。近くにいても離れていても、入所中でも退所後も気軽に何でも話し相談できるような関係を築き、心に寄り添える支援をしていきたいと思っています。

入居者アンケート

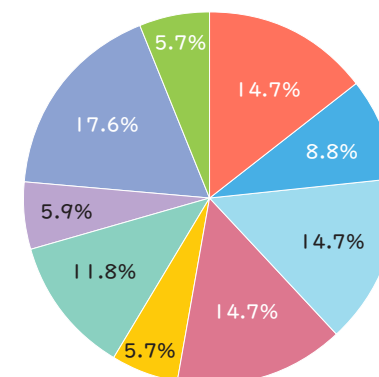
NPO法人アイグループ

入居者アンケート結果について (2025年3月31日)



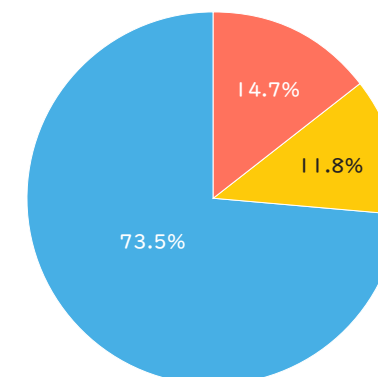
アンケート結果

所属ホームを選択してください。
(34件回答)



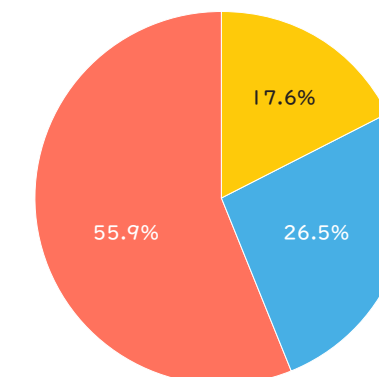
- えん
- テンポラリー
- Permit
- LUCK
- テンポラリー小倉北
- ラブ
- 庵
- テンポラリーくまもと
- inn

食事の提供についてお伺いいたします。
食事の量について一番近い項目を選択してください。(34件回答)



- ちょうどよい
- 多すぎる
- 少ない

食事の提供についてお伺いいたします。
メニューのレパートリーについて一番近い項目を選択してください。(34件回答)



- 種類が豊富
- 特に不満なし
- メニューを増やして欲しい

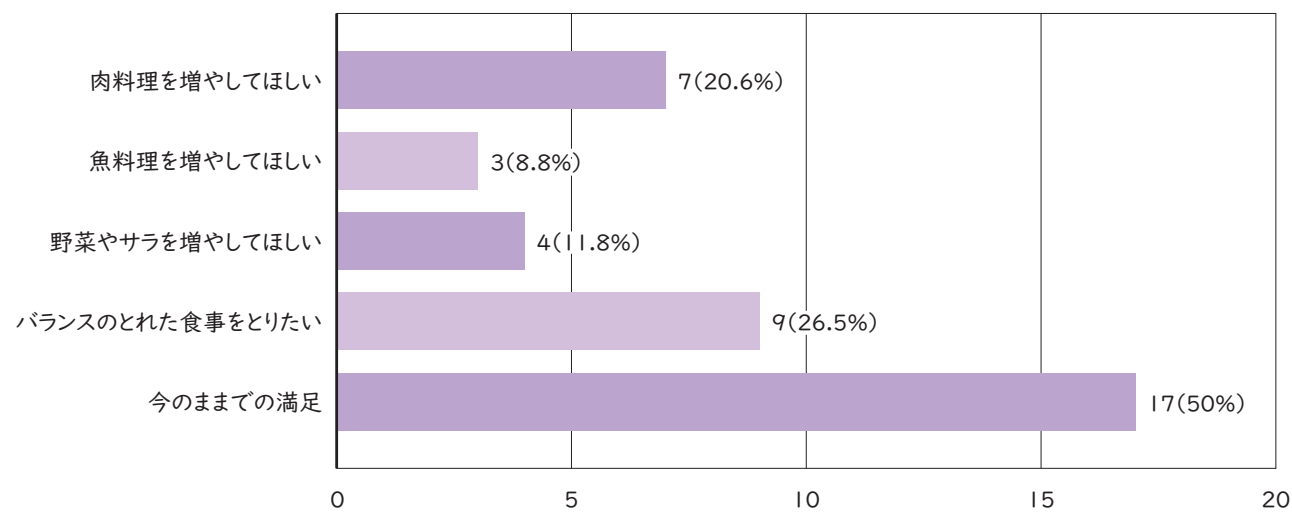


■ 入居者アンケート

アンケート結果

食事の提供についてお伺いいたします。

食材についてあてはまるものを選択してください。(複数選択可)
(34件回答)



食事についてリクエストやご要望があればご記入ください。

- ・食べれないものが出てきたりする
- ・野菜や魚が食べたい
- ・たこ焼き
- ・魚
- ・野菜がレタスやキャベツのサラダだけでなく煮びたしや肉詰めで料理としてでたら良いのではないかなと思います。
- ・ちくわのいそべあげ
- ・ミートドリア
- ・エビフライ
- ・焼肉が食べたい

左記の質問の回答で
具体的な感想を記載してください。

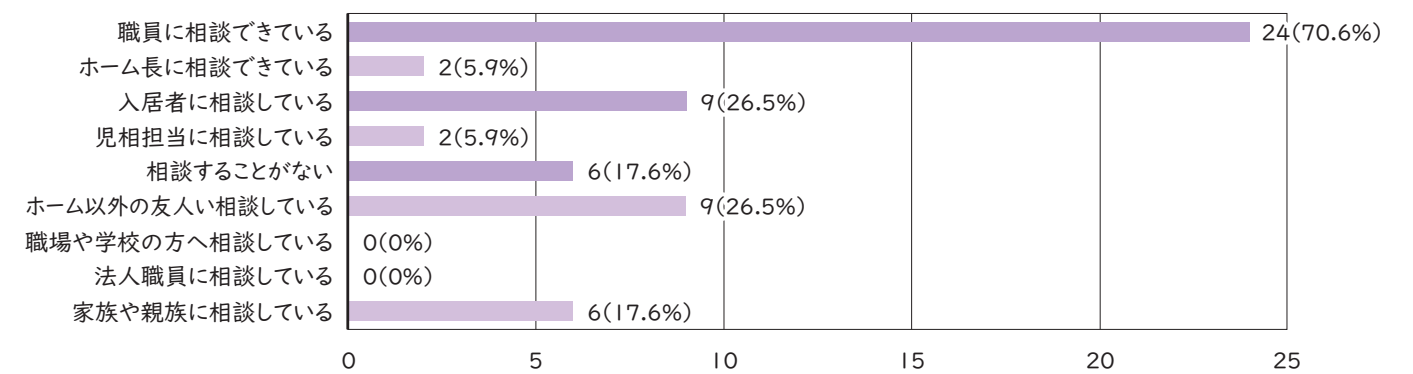
- ・副菜と主菜が毎回あって良い
- ・特にありません。
- ・いつも苦手な人に合わせて野菜や魚を出してくれない
- ・美味しい!

※コメントを一部紹介しています。

アンケート結果

相談についてお伺いいたします。

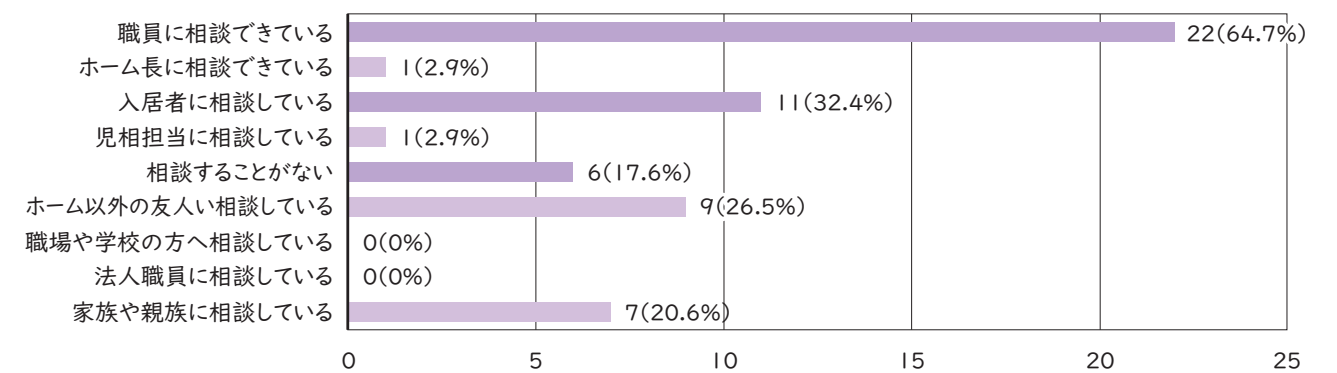
日々のホーム内での困りごとについて伺います。当てはまるものを選択してください。(複数選択可)
(34件回答)



アンケート結果

相談についてお伺いいたします。

日々のホーム外での困りごとについて伺います。当てはまるものを選択してください。(複数選択可)
(34件回答)



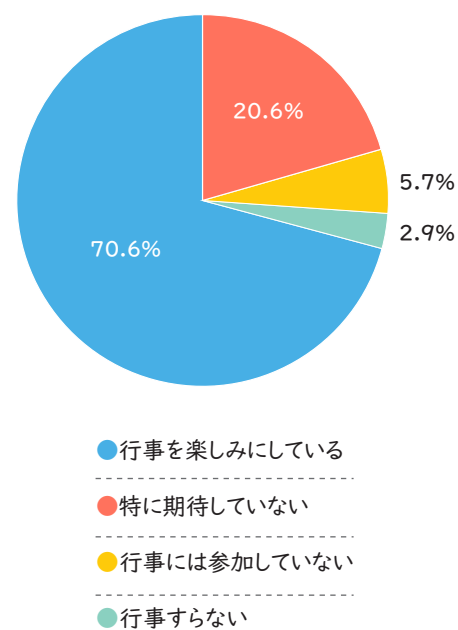
相談についての質問の回答で
具体的な感想があれば
ご記入してください。

- ・特にありません
- ・家の押し入れの扉が壊れたのと夏になるとキッチン下が臭うので助けてほしいです。

入居者アンケート

アンケート結果

行事についてお伺いいたします。
一番近い項目を選択してください。(34件回答)



参加してみたいイベント案があれば教えてください。

・ディズニーランド
・ディズニーランド、水族館
・ちくわのいそべあげ大食い
・映画鑑賞会 ライブ
・映画鑑賞
・釣り
・旅行
・フルーツ狩
・フルーツ狩り、ラウンドワン

※コメントを一部紹介しています。

行事の質問の回答で
具体的な感想を記載してください。

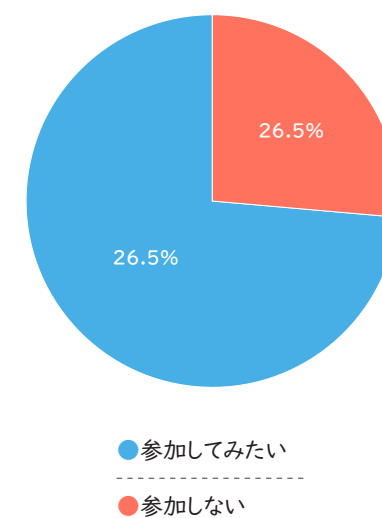
・特にありません
・ご飯も美味しいし景品も豪華で楽しい
・楽しい
・もっと行事とかやりたいいつもあれやろうかとか
言ってやらない

※コメントを一部紹介しています。



アンケート結果

法人内(アイグループ内)で
サークルやクラブ活動的な取り組みが
あれば参加したいと思いますか？
(34件回答)



法人内(アイグループ内)でサー
クルやクラブ活動でやってみたい
案があれば教えてください。

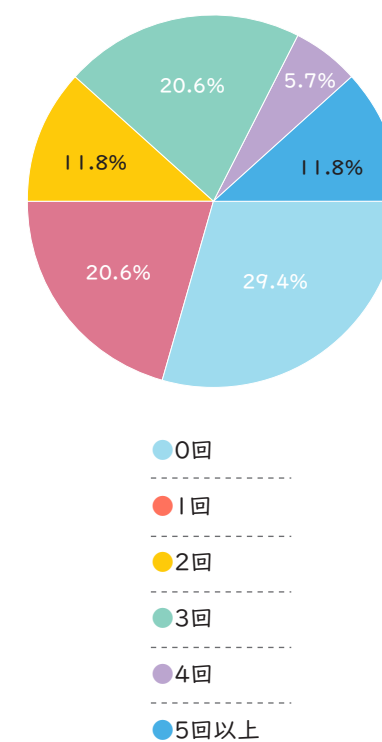
・バドミントン
・特にないです。
・吹奏楽

今後期待したい内容などありま
したらご記入してください。

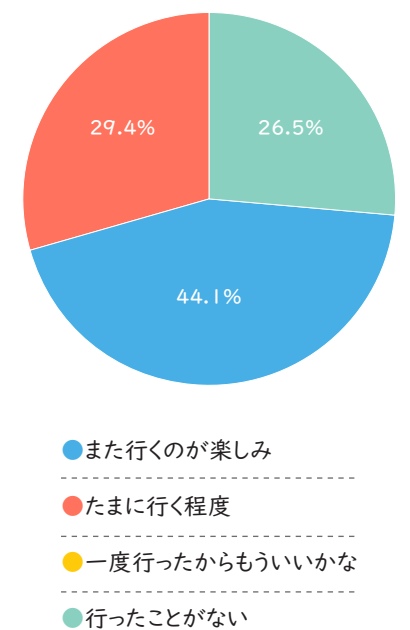
・特にありません。

※コメントを一部紹介しています。

BOOK CAFE PERCHIに
ついてお尋ねします。
利用した回数を以下の中で近いもの
を選択してください。(34件回答)



BOOK CAFE PERCHIに
ついて以下の中で当てはまる
ものを選んでください。
(34件回答)



BOOK CAFE PERCHIに、
今後期待したいことを
教えてください。

・行く機会があれば、マ
シュマロをチョコレート
の中につけることをも
う一回したいです。
・特にありません。
・新メニュー
・今のままでいい

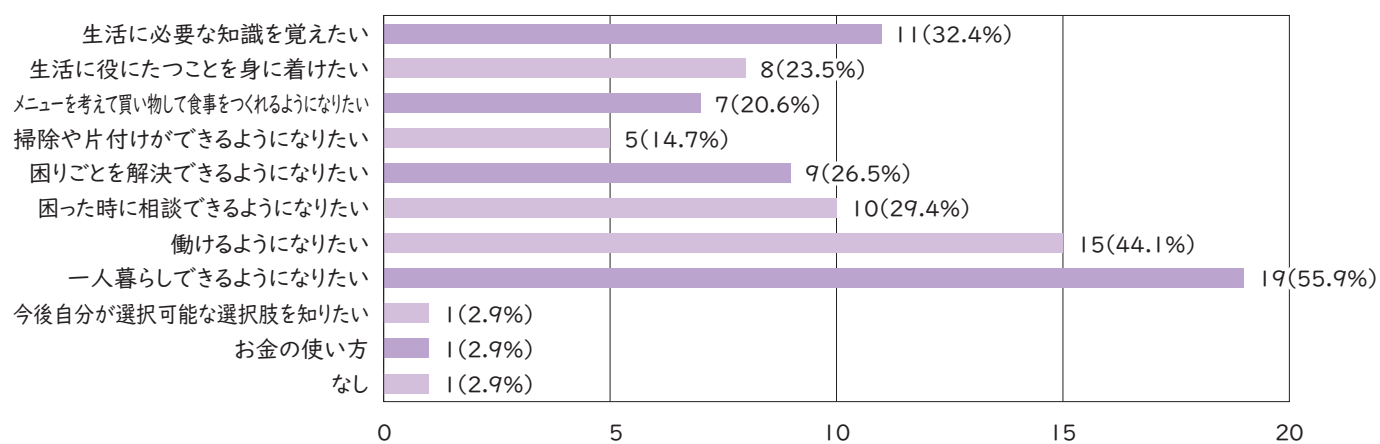
※コメントを一部紹介しています。



入居者アンケート

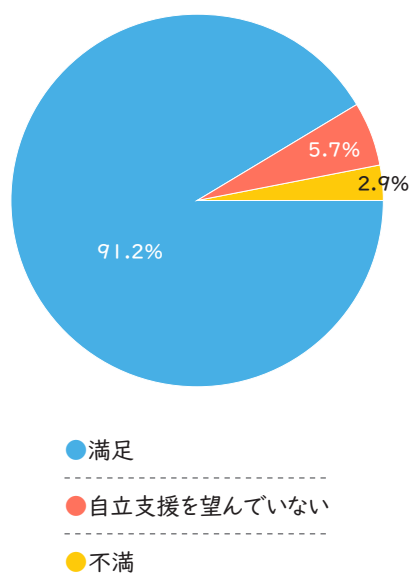
アンケート結果

自立支援について
どのような支援を求めているのかを教えてください。(複数選択可)
(34件回答)

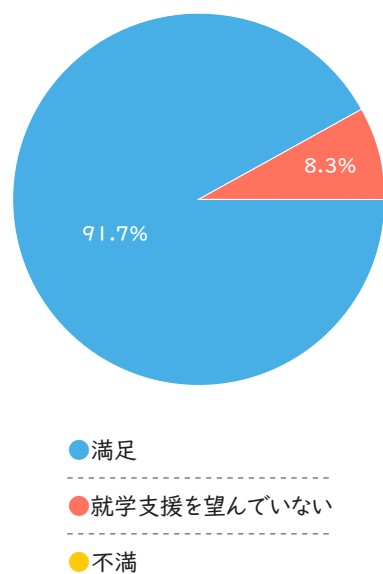


アンケート結果

現在の自立支援の
満足度を教えてください。
(34件回答)



現在の就学支援の満足度を
教えてください。(就学者のみ)
(12件回答)



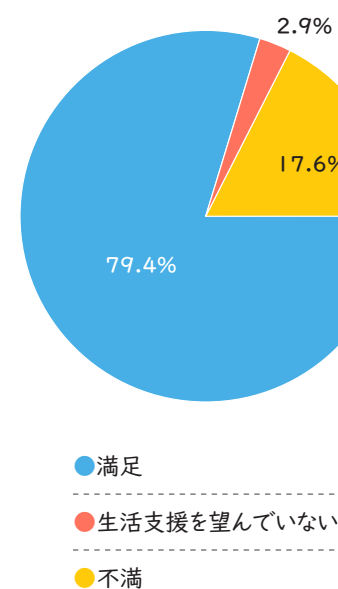
就学支援についてどのような支援を
求めているのか教えてください。
(就学者のみ)

- ・学費サポート
- ・毎日きちんと登校できるよう、良好な心身の状態を保てる環境づくりを求めたい。

※コメントを一部紹介しています。

アンケート結果

現在の生活支援の
満足度を教えてください。
(34件回答)



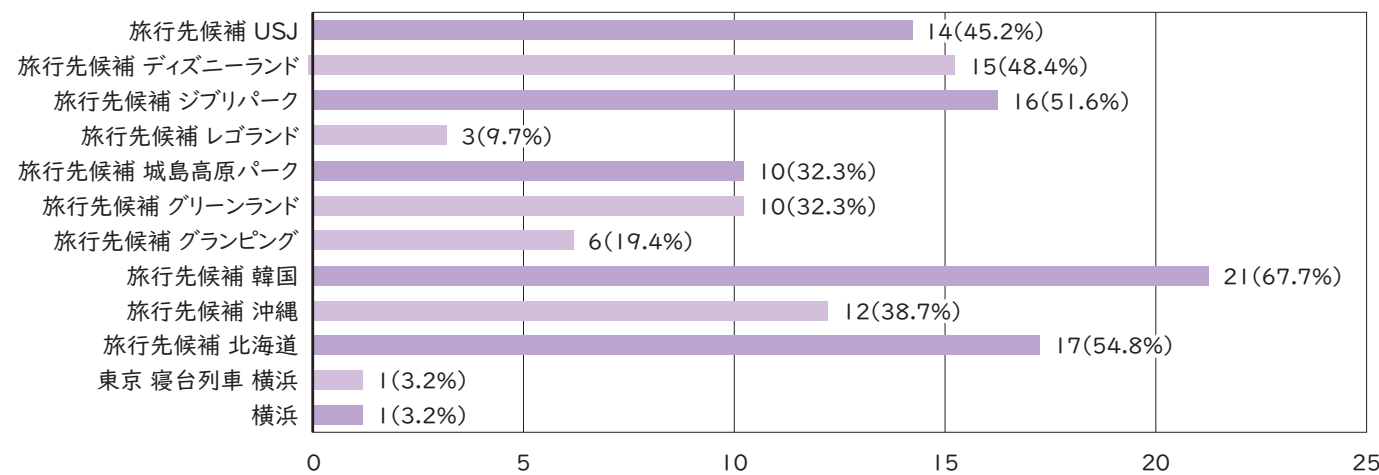
生活支援についてどのような支援を
求めているのか教えてください。

- ・特にありません。
- ・食事の支援
- ・お金
- ・食器洗い
- ・仕事探しや、生活の仕方、お金の使い方
- ・規則正しい生活習慣に繋がる、環境の場の提供。
- ・安定して働けるように
- ・今の状態で十分
- ・ない
- ・衣替え費等
- ・不自由なく暮らせる
- ・バイト続けたいから、背中を押してほしい
- ・特定の児童を特別扱いせずに平等に接して欲しい

※コメントを一部紹介しています。

アンケート結果

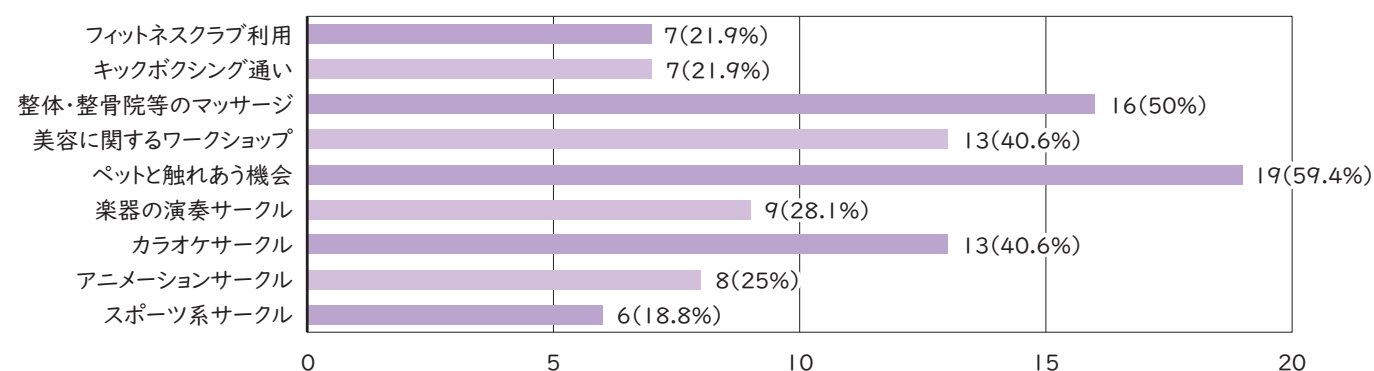
以下の旅行企画の中で興味があるものを選択をしてください。(複数選択可)
(31件回答)



入居者アンケート

アンケート結果

以下の企画の中で興味があるものを選択してください。(複数選択可)
(32件回答)



ホーム内で改善して欲しいこと

- ・電話の声、スマホの音量を気をつけるようにと貼り紙があるのに良くならない。洗った食器を拭いて直すように書かれた紙が貼ってあるのに、一部の人が洗いもせず、また洗ったはいいいものの棚に直していないので職員の方々の仕事が増える。
- ・お風呂リフォーム
- ・リビングの机がガタガタしているので変えて欲しい。
- ・人のことを考えて欲しい
- ・壁の薄さ
- ・自己中人の態度

支援者(職員の方)へひと言またはご要望について

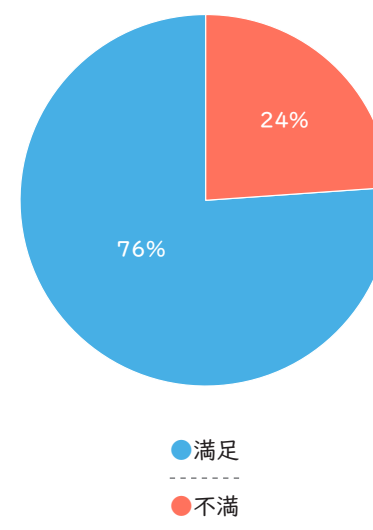
- ・気にかけてくれてちゃんとした言葉をかけてくれるからすごく感謝しています。相談しやすい環境になったことがとても嬉しいです
- ・特にありません。
- ・いつもありがとうございます！

※コメントを一部紹介しています。



アンケート結果

修学旅行(法人が企画したイベント)に参加した方へお尋ねします。
参加した感想を教えてください。(25件回答)



左記の修学旅行に参加した方へお尋ねします。
参加した感想を教えてください。

- ・トラブルが起きたのが残念だった。それ以外は楽しかった。
- ・最後の方までワクワクで楽しかった
- ・同じ日本人なのに冷たい人ばかりでした。人が多すぎて疲れた。移動距離が長く疲れた。
- ・空気読めない人がいて困った。メンツの組み合わせ。奇数は良くない
- ・めっちゃ楽しかった！
- ・楽しかったです
- ・また行きたいです。
- ・とても貴重な体験をさせていただき感謝しています。楽しかったです。
- ・たのしかった！

※コメントを一部紹介しています。

クラウドファンディング

アイグループでは退居児童の支援の一環としてクラウドファンディングを実施しています。
現在行っているのはラブの退居児童です。Mさんは外国籍で11歳の時に来日して以来、言葉の壁や両親との関係性に悩みながらも独学で日本語を学び、「自分と同じ境遇の子ども達を助けたい」という思いから夢を叶える為に大学へ進学することになりました。
しかし、大きな助成金を受けられなかったり他機関よりアルバイトを制限されたりと充分に通える資金がないまま進学しました。

Mさんの夢を叶える為にも、皆様のお力をお借りしたいと思っています。一度、クラウドファンディングのホームページを見ていただけると幸いです。温かいご支援よろしくお願ひいたします。

下記URLからページへお進みいただけます

https://camp-fire.jp/projects/825893/preview?token=3414d167&utm_campaign=cp_po_share_c_msg_projects_show

